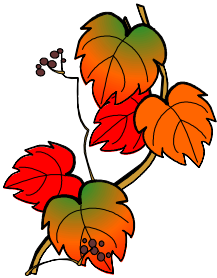


事業委員会だより

■ 地域班活動について、皆で考えてみませんか！

事業委員会担当 理事 篠原修彦



会員の役割は、大きく分けて①「組織活動に参加すること」②「就業活動に参加すること」③「就業活動を通して地域社会に貢献すること」の三つです。

「シルバー人材センター（以下「センター」という。）へ入会した理由は何でしょう？」と問えば、「なにがしかの収入と生きがいを求めて、会員になりました。」と答え、就労にいそしんでおられるのが、会員の一般的な実態ではないでしょうか。これは、②に当たり、当然のこととして役割を果たしております。

③については、就業すれば、それほど意識していな

くても、結果的にかなうことになる場合が多いと言えます。問題は①です。組織運営上大切なことなのに、みなさん、消極的なようです。たとえば、地域役員（地区委員・班長）になって組織活動をしようと思意識する方は非常に少ないです。

意欲をもって「働くために会員になった」ということは、同時に「地域班の一員になった」ことを意味するのですが、そのことを意識する方が少ないのが、一つの理由だと思われます。

センターの事業効果を高めるためには、地域班活動の活性化が不可欠です。

みなさん！ 地域班活性化に力を出し合いませんか！ ご意見・ご批判を、お寄せください。

■ 就業支援セミナー「草刈り技能講習会」を開催

開催日 平成25年6月25日（火）
 開催場所 当シルバー人材センター多目的室／同堆肥場
 講師 (株)丸山製作所 三好象二郎氏
 受講者 7名（うち会員1名）

機械刈り除草業務への就業希望の新規会員の獲得と既会員の機械刈り業務への就業機会の拡大を目的として、昨年に続き、この講習会を開催しました。講習では、機械刈り業務を適切かつ安全に遂行できるよう、草刈り機の構造、使用、保守点検及び安全作業について、座学と実技指導により学んで頂きました。会員外受講者6名のうち5名が新規に入会され、草刈り以外の業務を含め、すでに就業していただいています。



表紙の写真について



平成25年8月11日、関西文化学術研究都市を結ぶ幹線道路である山手幹線（府道八幡木津線）の下狛工区（相楽郡精華町下狛）1.1キロメートルが開通しました。今回の開通で山手幹線の整備率が、約90%になり精華町及び木津川市からの京奈和自動車道・精華下狛インターチェンジへのアクセスが向上し、木津川左岸地域の活性化につながるとみられています。

写真：清水泰律、文：母谷章宣